

平成22年度

決算

まちの財政は、一般会計のほか6つの特別会計を設けて運営しています。

このほど平成22年度の各会計の決算とこれに基づく健全化判断比率などがまとまりましたので、その内容についてお知らせします。

すべての会計決算は、監査委員の意見を付して去る9月27日開会の第3回町議会定例会に提出し、決算審査特別委員会に付託されましたので、12月の第4回町議会定例会において認定の可否が審議されます。

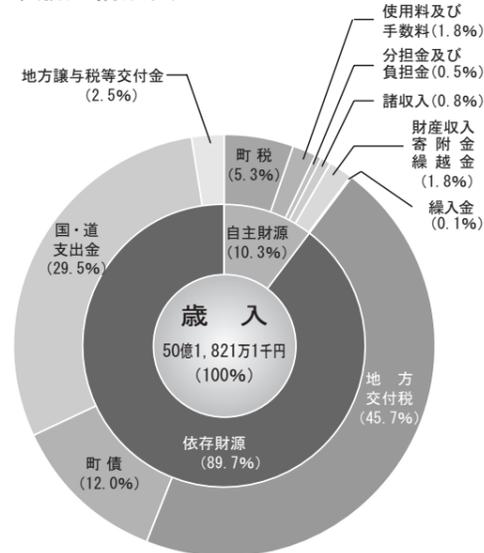
決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのようになっているのか明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

一般会計支出総額 48億4,571万6千円 6特別会計支出総額 9億6,991万3千円

◆一般会計歳入決算額

区分	決算額	構成比	前年度増減
町税	2億6,800万9千円	5.3%	1,775万5千円
地方譲与税等交付金	1億2,391万1千円	2.5%	149万2千円
地方交付税	22億9,382万1千円	45.7%	1億2,907万0千円
分担金及び負担金	2,300万1千円	0.5%	440万0千円
使用料及び手数料	8,875万9千円	1.8%	△ 357万2千円
国・道支出金	14億8,304万8千円	29.5%	△ 8億6,343万3千円
財産収入	4,614万5千円	0.9%	685万5千円
寄附金	514万8千円	0.1%	59万6千円
繰入金	204万3千円	0.1%	△ 1,629万7千円
繰越金	4,168万9千円	0.8%	2,123万2千円
諸収入	4,076万5千円	0.8%	△ 985万5千円
町債	6億0,187万2千円	12.0%	△ 5億8,337万3千円
歳入合計	50億1,821万1千円	100.0%	△ 12億9,513万0千円

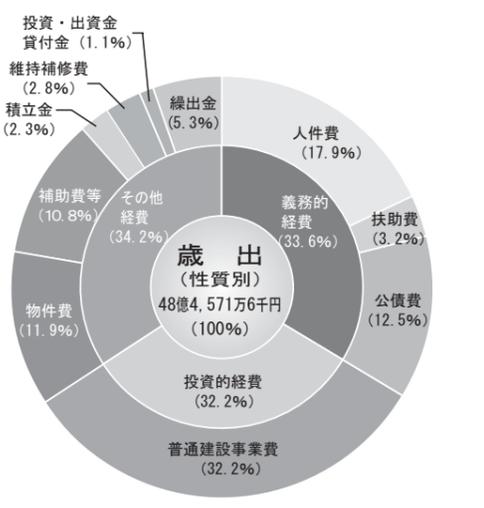
◆歳入構成図



◆一般会計歳出決算額

区分	決算額	構成比	前年度増減
人件費	8億6,850万0千円	17.9%	8,825万3千円
物件費	5億7,686万3千円	11.9%	△ 4,209万0千円
扶助費	1億5,657万6千円	3.2%	4,037万3千円
補助費等	5億2,330万8千円	10.8%	△ 585万9千円
維持補修費	1億3,752万7千円	2.8%	63万0千円
普通建設事業費	15億5,883万2千円	32.2%	△ 15億0,996万5千円
公債費	6億0,362万8千円	12.5%	△ 1,421万1千円
積立金	1億1,358万8千円	2.3%	5,864万5千円
繰出金	2億5,436万4千円	5.3%	△ 280万2千円
投資・出資金・貸付金	5,253万0千円	1.1%	5,109万0千円
歳出合計	48億4,571万6千円	100.0%	△ 13億3,593万6千円

◆歳出構成図



◆収支

区分	平成22年度	平成21年度	増減
差引収支	1億7,249万5千円	1億3,168万9千円	4,080万6千円

用語解説

- 人件費
- 職員給与や議員・各種委員会委員報酬などの経費
- 物件費
- 施設管理や物品購入、旅費などの経費
- 扶助費
- 老人医療助成、児童手当などの経費
- 補助費等
- 富良野広域連合などへの負担金および各種団体への補助金経費
- 維持補修費
- 道路の維持および除雪経費、公
- 共施設の補修経費
- 普通建設事業費
- 公営住宅、町道整備などの公共事業経費
- 公債費
- 借入金返済金
- 積立金
- 各種基金への積立金
- 繰出金
- 簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
- 貸付金
- 奨学資金や水洗化改造資金の貸付金
- 義務的経費
- 人件費などその支出が義務付けられている経費
- 投資的経費
- 道路、住宅などの公共事業経費
- その他経費
- 義務的経費、投資的経費以外の経費

町民一人あたりの収入額
176万1千円

平成22年度の一般会計の決算額は、収入総額50億1,821万1千円で前年度に比べて12億9,513万円(▲20.5%)減少しました。これは、平成21年度に実施した農山漁村活性化プロジェクト支援整備事業(ふらの農協ポテトチップス工場建設事業)や経済危機対策関連事業が終了したことにより国・道支出金が8億6,343万3千円減少、町債(借入金)が5億8,337万3千円減少したことなどが主な要因です。

また、収入総額の約5割を占める地方交付税は、財政状況の厳しい過疎地域などへの配慮がされ1億2,907万円増加しました。

町税などの自主財源は1割となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

町民一人あたりの費用額
170万円

減少しています。平成21年度に実施した農山漁村活性化プロジェクト支援整備事業(ふらの農協ポテトチップス工場建設事業)や経済危機対策関連事業による普通建設事業費が15億9,965万5千円減少したことなどによるものです。

また、財政状況のゆとりの目安となる経常収支比率は79.4%となっており、前年度に比べて4%改善していますが、地方交付税の増額によるもので、依然として財政の硬直化が進んでいます。

なお、各収入額と支出額は3ページのとおりでです。

町民一人あたりの借金残高
303万1千円

平成22年度末の借入金の残高は、一般会計で67億3,941万9千円、特別会計で18億9,983万7千円、総額は86億3,925万6千円となっており、前年度末より2,761万5千円(町民一人あたり4万円)増加しています。

町民一人あたりの預金残高
46万4千円

各会計の歳入不足を補うため

◆町税の内訳

項目	収入額	構成比
町民税	1億0,502万3千円	39.2%
固定資産税	1億4,371万7千円	53.6%
軽自動車税	406万6千円	1.5%
町たばこ税	1,490万3千円	5.6%
鉱産税	30万0千円	0.1%
合計	2億6,800万9千円	100.0%

町民一人あたりが納めた町税
9万4千円

町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、前年度より1,775万5千円増加の2億6,800万9千円となり、収入総額の5.3%の割合となっています。

なお、町税の内訳は次のとおりです。

に積み立てている基金の残高は、平成22年度末で13億2,122万9千円となっており、前年度末より1億9,167万8千円(町民一人あたり7万2千円)増加しています。